

大雪!除排雪費の2回目追加補正(1億2,000万円)可決される!!

令和3年度一般会計補正予算(第11号・第12号・第13号)の主な事業

冬期交通対策費(道路除雪等)	1億2,000万円	当初2,666万円+8月補正4億3,178万円+今回=合計:5億7,844万円
若者マイホーム取得助成金	200万円	45歳以下の夫婦のマイホーム取得の増加(当初予算は1,200万円)
生活バス路線対策費	530万円	田沢湖駅発着八幡平線の羽後交通への補助及び市民バス、デマンドタクシーの補助増額
高齢者世帯等除雪支援事業費	433万円	75歳以上の世帯に対する除排雪や雪下ろし費用の助成を増額
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費	148万円	私立認定こども園と家庭的保育施設に対する処遇改善を図るための所要経費(国が教育・保育の現場で働く人の収入を3%程度引き上げるための費用を補助するもの)
新型コロナワクチン接種体制確保事業費	320万円	3回目のワクチン接種会場の光熱水費及び暖房費
病院事業会計補助金	1億4,164万円	病院事業会計への補助金の増額(当初予算で10億9,718万円を補助)
仙北市経営維持支援金給付事業費	△4,490万円	前年又は前々年から収入が20%以上減少した事業者に10万円給付する事業だったが、申請件数が見込みの56%に留まったことによる減額
コロナ禍でのまつり・イベントの中止	△1,181万円	角館桜まつり△300万円、角館のおまつり△612万円、紙風船上げ△269万円
ふるさと仙北応援基金積立金	△3億円	12月補正でふるさと納税の寄付金を3億円増額したが12月以降不振で減額

本会議・予算常任委員会での主な質疑

第三セクター4社の指定管理者の指定期間等について

質問 第三セクター4社の指定管理者の指定が3月31日で満了になる。今年7月の合併を目指しているのに、4社とも新たに今年の4月1日から令和9年3月31日までの5年間を指定するのはなぜか。また、合併して新会社設立後も指定管理料は5年間変更しないのか。

答弁 現時点では、4つの施設ごとに指定管理制度に則って5年間の契約とした。来年度に統合新会社になった場合は、指定管理の相手方が1社となり、指定管理者の変更が必要となる。各施設の運営等に見直しがあれば、指定管理料も変更することになるが、現行の指定管理料を上回ることはないと考えている。

質問 「3年後には黒字にして、指定管理料をゼロにします。」といった、民間経営者を募るような施策は考えていないのか伺う。

答弁 民間の経営者も視野に入れ模索している最中である。

第三セクター4社は合併して黒字経営になるのか

質問 令和4年度一般会計予算に、三セク4社の借金を市が肩代わりする経費(2億7,326万円)が計上されているが、4社が合併した新会社は、市へ返済しながら黒字経営ができるのか見解を伺う。

答弁 新会社は、重複している事業の見直しや赤字部門の休止・撤退などでの経営改善を目指す。市の貸付金の償還については、3年の据え置き期間が必要と考えている。貸付金を償還できる黒字経営を目指す。

令和4年度の除雪費を確保できるのか

質問 令和4年度一般会計予算に、除雪費が2,226万円しか計上されていないが、今年度は2回の補正で5億8,000万円程の除雪費が必要となっている。予算編成時の財政調整基金は5億7,000万円程度しか残っていない財政状況で、来年度の除雪費を確保できるのか。

答弁 仙北市の合併以降は、除雪費の当初予算を必要最小限で計上し、普通交付税や前年度繰越金が確定した後の、9月補正で追加計上してきた。来年度も9月補正で除雪費を確保する。

新たな公共交通について

質問 新たな公共交通の形「よぶの角館」という事業の内容について伺う。

答弁 実施主体は仙北市とJR東日本で、運行は羽後交通と角館観光タクシーに委託する。角館中心部と花葉館や抱返り溪谷などの観光スポットを対象に運行する。スマホと電話での予約ができ、5/17から利用できる。

保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費について

質問 具体的な事業内容について伺う。

答弁 国の経済対策事業として、保育士と幼稚園教諭等の処遇改善臨時特例事業である。第12号での補正は、はなさき仙北と保育室ねむねむのきの職員の給与月額を3%を2月から引き上げる予算である。